

第 14 回定例教育委員会 会議録

開催月日 平成 29 年 1 月 5 日 (木)

開催時間 午前 10 時 30 分から午前 11 時 00 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 守屋 守
教育長職務代理者 白川 太
教育長職務代理者 飯室 元邦
委員 和田 一枝、野田 清紀、武者 稚枝子

出席職員 教育次長 宮沢 雅史
教育監 渡井 渡
教育監 小川 巖
総務課長 小島 良一
福利給与課長 (代 総括課長補佐 伊藤 賀一)
学校施設課長 (代 総括課長補佐 本田 晴彦)
義務教育課長 (代 義務教育指導監 嶋崎 修)
高校教育課長 (代 高校教育指導監 佐野 修)
社会教育課長 岩下 清彦
スポーツ健康課長 (代 総括課長補佐 小泉 治明)
学術文化財課長 (代 総括課長補佐 柳原 明裕)
新しい学校づくり推進室長 鈴木 昌樹
国体推進室長 (代 国体推進監 樋 紀宏)
総務課総括課長補佐 草間 聖一
政策企画監 (総務課課長補佐) 古澤 善彦
総務課課長補佐 篠原 孝男
総務課課長補佐 望月 明男
総務課副主幹 保垣 利恵 新しい学校づくり推進室主幹 荻野 智夫

傍聴人 0 名

報道 2 名

会議要旨

[教育長開会宣言]

1 議 案 な し

2 報告事項 な し

3 その他報告

(24) 平成 28 年度中学校卒業予定者の第 2 次進路希望調査結果の概要について

[説明] 新しい学校づくり推進室

野田委員 県外高校あるいは県外高専に・・どんな所へ行かれています。
気になるのがね、優秀な子が県外のいい学校にどんどん流れていくみたいなの
があると、ちょっとね・・

教育長 県立がんばれ、県内高校がんばれという話をしなきゃならんというのはそういう
ことです。
すぐには分からない？

鈴木室長 すみません。資料が手元にありません。

教 育 長 例 えば覚 えて いる だけ だ け だ も っ ち だ け だ も 。

鈴 木 室 長 高 専 だ と 八 王 子 高 専 と か 、 あ と 高 校 は ち ょ っ と わ か り ま せ ン 。

野 田 委 員 例 えば 有 名 私 立 の 何 々 高 校 行 っ た と か と い う 、 そ う い う の を 聞 きた か っ た ん だ

小 島 課 長 都 内 の 有 名 私 立 み た い な 所 で す よ ね 。 も し く は ス ポ ー ツ み た い な 、 野 球 で ど こ か へ 行 く と か 、 サ ッ カ ー で 行 く と か 、 そ の 辺 も あ る か な と い っ た い 。

鈴 木 室 長 資 料 が あ る ん で す け だ 、 ち ょ っ と 置 い て き て し ま っ て ・ ・

教 育 長 あ あ 、 そ う か そ う か 。 そ う い う の が あ る か も し れ な い で す ね 。

小 島 課 長 そ う な る と 野 田 委 員 さ ん が お っ し ゃ る よ う に 優 秀 な 、 要 す る に 学 力 だ け で は な く て 優 秀 な 子 ども た ち が 行 っ て いる と い う 傾 向 が あ る の か ど う か と い う 。

野 田 委 員 知 力 、 体 力 、 共 に ね 。

教 育 長 一 芸 に 秀 で た ・ ・

野 田 委 員 人 材 の 、 あ る 意 味 で 流 出 に な っ て いる わ け じ ゃ な い で す か 。

教 育 長 自 分 の 能 力 を も っ と 活 用 で き る 、 展 開 で き る 方 向 で や っ て い た だ く よ う に 。

野 田 委 員 今 小 島 課 長 が お っ し ゃ っ た よ う に サ ッ カ ー だ っ た か 、 前 橋 育 英 と か 、 市 船 な ん か へ 行 っ ち ゃ う ん だ よ ね 。

鈴 木 室 長 す み ま せ ン 。 資 料 が あ り ま した 。

高 専 だ と 長 野 高 専 、 東 京 工 業 高 専 、 静 岡 沼 津 高 専 が あ り ま す 。 そ れ か ら 私 立 の 県 外 高 校 は 、 いろ いろ あ り ま す け だ も 、 東 京 実 践 学 園 と か 明 大 中 野 八 王 子 、 駒 澤 大 学 高 校 。 あ る い は 遠 く で す と 福 井 県 の 啓 新 高 校 、 あ と 静 岡 県 の 星 陵 と か 富 士 見 高 校 。

野 田 委 員 こ の 辺 は 身 延 近 辺 の 子 が ・ ・

教 育 長 身 延 そ う で す ね 。 富 士 見 は そ う で す ね 。

小 島 課 長 前 橋 育 英 が あ り ま す ね 。 木 更 津 総 合 、 こ れ 野 球 で す ね 。 佐 久 長 聖 、 マ ラ ソ ン か も し れ ま せ ン ね 。 意 外 と や っ ぱ り そ っ ち 系 が 多 い か も し れ ま せ ン 。 あ と は 上 野 原 辺 り の 子 ども た ち が 山 梨 県 に 来 る よ り も 、 き っ と 八 王 子 や 立 川 の ほう が 近 い の で ・ ・

野 田 委 員 近 い し 、 選 択 肢 も 広 い と い う こ と だ ね 。

小 島 課 長 そ う で す 。 広 い ん で 、 そ の 可 能 性 と 、 そ れ 以 外 は や は り ス ポ ー ツ 系 は 多 い か も し れ な い 。 私 の 知 っ て いる 人 も 青 森 山 田 へ サ ッ カ ー で 行 っ た 子 ども お り ま す 、 息 子 の 同 級 生 で 。 そ う い う の は あ る か も し れ ま せ ン 。

野 田 委 員 分 か り ま した 。

飯 室 委 員 1 ペ ー ジ の 説 明 の 中 で 、 県 内 の 私 立 高 校 の 希 望 者 が 増 え て い ま す よ ね 、 2 6 名 と か に 。 こ れ や っ ぱ り 県 内 の 私 学 に 行 っ た ほう が ・ ・

鈴 木 室 長 こ れ は ち ょ っ と 理 由 が 定 か で は な い ん で す け だ も 、 隔 年 現 象 で 昨 年 は 公 立 の 志 願 者 が 増 え ま っ て 、 そ の 前 は 私 立 の 志 願 者 が 増 え て いる と い う 、 公 立 と 私 立 が 交 互 に 増 減 を し て お り ま す の で 、 飯 室 委 員 さ ん の ほう か ら 第 一 次 進 路 希 望 調 査 の 時 に 理 由 を 聞 いた ら ど う か と い う ふ う な ご 意 見 を い た だ い て お り ま す の で 、 そ の 理 由 を 聞 け ば あ る 程 度 傾 向 み た い な も の は つ か め る ん で は な い か と い う ふ う に 考 え て い ま す 。

飯 室 委 員 し か も 経 営 も 大 事 だ し ね 、 集 め る の が ね 。 頭 の い い 学 校 へ 何 か た く さ ん 行 っ ち ゃ う と 、 ま た 県 立 の ほう も ね 。 分 か り ま した 。

白川委員

実際さっきも野田委員との話になるんですけど、私の子どもが中学3年生なんですよ。だからこの中に一人どこかに入っているんですけど、周りの親だとか先生だとかの影響って結構風評的にありますし、それから学習塾というのに行くじゃないですか。学習塾はやっぱりいい子はもっと上に行きなさいというと、大体私立です。あとは県外であって、公立の順番ってその3番目ぐらいです。そこにやっと甲府南の理数科とかって、甲府の南の理数科に行くんだったら東京のここに行ったらどうでしょうかとか薦められますよね。
あとはだからお金の問題というところで、親が一番心配するのはその先なんです。高校がゴールじゃありませんので、高校から大学にということを考えていくと、私立の見せ方というのが非常に魅力があるわけですね、分かりやすい。例えば私の地元の都留高校に行ったから、じゃあ都留高の先に何ががあるのかというのが見えない。私立ははっきりそれを打ち出していますよね。非常に分かりやすい。だから子どもにとっても、そして親にとって魅力を感じてしまう。でも多分そのとおりにはないはずなんですけど、見せ方は上手かなと思いますね。

教育長

やっぱり普通高校も、工業系はいろいろこういうところが就職できるとか、同窓会もがんばっているいろいろ就職の手助けをされているんですが、普通高校がちょっとそういうところの観点がないので、今後普通高校も地元の高校を出ると、例えば地元に戻ってくる場合にこれだけ有利だとか、いろんな選択肢が実は普通県立高校でもありますよという、せっかく同じことをやってもPRが下手で、よく理解されないというのはやっぱり避けて、その努力をしていかなければならないというのはよく感じているところでもあります。
引き続き一生懸命パンフレットなんか見ると、ああ、こういうことを「見せる化」するといいかたと。市川高校のパンフレットを先ほど見ていたんですけど、やはりそういう見せ方というのは大事なところだと思うので、各高校もがんばっていくように少し話をしていくようにいたします。

野田委員

学習塾みたいにやったらどうですか。よくあるじゃないですか。東大に何人行ったとか、医学部へ何人行ったとか、各高校だってそれを見せれば、ああ、この学校からこんなところにこんなに受かっているんだ。じゃあぜひその高校に進学させたいなと、公立高校だって思うんじゃないですか。
それ全然分からないですよ。中に入って何年かすれば分かるけど、外側から見ている限りは分からないですものね。南高の理数科に行けば最低でも早慶へ行けたと。もうほとんどが昔の旧帝大系に行けたとか、医学部行っているとかといえ、絶対そこに行かせようという気になるんじゃないですか。しかも公立だし、地元から通えるしなんていうことになれば。

教育長

あと資格とかね、英検なのかTOEICなのか、あるいはいろんな工業系だとか商業系の資格もこれだけ取れますと。それなりの海外との取引がある企業は英語が共通言語みたいなところもあれば、例えばTOEIC800点以上でとかという、そういう募集要項でも書いてあったりするところがあるので、そういうところもちゃんと意識した高校を、大学のさらに上に行けるように、上を見据えた資格だとか、教育の内容だとか、そういうところをよく、分かりやすく説明するって大事ですよ。
やっている所も多々あるんだろうと思うけど、それが親の方だとかが分からないともったいない話です。知立はもう経営という観点からも、そういうところは命綱なんで一生懸命やるけど、県立高校もやっぱり県外から人が来るぐらいの、そういう魅力ある見せ方って大事かもしれないですね。そこはよく県立高校の校長先生だとかにもよく話をするようにいたします。

和田委員

特別支援学校の希望率が前年に比べて増えているんですけども、中学校の特別支援学級へ入っている子どもたちの進学の希望率というのはどんなふうに変化しているのでしょうか。
というのは、知的ではない子どもたちの学級もありますね、情緒自閉症のような。ああいう子どもたちが進学をしたいと考えた時に、知的に低くないと中々支援学校には入学できないんですけれども、そういう子どもたちはどこに希望しているのかなというふうなこととか、進学を諦めているのか、定時制とかに希望しているのかなというふうなことが分かりましたら教えていただきたいなと思うんですけど。

鈴木室長

すみません。そこまではちょっと今分析してございませんので、また調査票の中

で分かる範囲で分析をして、次回またできればご報告させていただければと思います。

和田委員　　そうですね。支援学級に入居している子どもたちがずいぶん増えているので、その子たちがもうちょっと上の学校に行って勉強したいという時に、どの程度受け入れてもらえるようなキャパがあるのかなというのがちょっと気になっていたの
で。じゃあお願いします。

教育長　　ありがとうございました。

【了知】

- (25) 平成29年度山梨県公立高等学校全日制課程における再募集の検査方法について
〔説明〕新しい学校づくり推進室

【了知】

〔教育長閉会宣言〕